# コヨーテポイントがWebアプリケーションの仮想環境を支援するベストプラクティスを発表

2011年12月22日（木） 東京発 ー
アプリケーションデリバリとアクセラレーションソリューションのリーディングプロバイダであるCoyote Point Systems,
inc.（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、CEO兼CTO：ウィリアム・キッシュ）の日本支社であるコヨーテポイント・システムズ・ジャパン（東京都千代田区、カントリーマネージャ：小林容樹）は本日、アプリケーションデリバリ・コントローラを活用したWebアプリケーションの環境を支援するベストプラクティスを発表しました。

仮想化はデータセンタの構築、管理、ネットワークを劇的に変えたテクノロジです。ハードウェアの効率利用、サーバの迅速な実装、そして柔軟性など、多くのメリットをもたらしましたが、一方で、ファイアウォール、スイッチ、そしてもちろんアプリケーションデリバリ・コントローラ（ADC）の負荷分散といった従来のネットワークツールを活かしながら、仮想環境でどのようにアプリケーションのパフォーマンスと可用性を管理するかといった課題も存在しています。

コヨーテポイントの仮想環境での実装向けの最新製品Equalizer OnDemand（TM）＊
は、Equalizerの仮想化版である仮想マシンアプライアンスです。これと仮想化サーバのロードバランシング機能であるEqualizer
VLBの組み合わせにより、Webアプリケーションデリバリインフラの包括的な仮想化を実現することができます。

Equalizer
OnDemand仮想アプライアンスを単体またはHA構成で仮想環境の中で運用することにより、高可用性を実現し、Equalizerの物理アプライアンスと同様の統合アプローチによりトラフィックを負荷分散できます。物理デバイスとは異なり、Equalizer OnDemandでは、Equalizer
OnDemandの仮想アプライアンス自身に与えられたリソース（メモリやvCPU）をスケールアップ（またはダウン）することが可能になります。まずはEqualizer
OnDemandをXメガバイトのRAMと1つの
vCPUで運用を開始し、将来的にY個のvCPUとYメガバイトのRAMに拡張したりすることができます。馬力が必要になればその分Equalizer OnDemandをパワーアップすることができるのです。

Equalizerは物理アプライアンス、あるいは仮想アプライアンス、または両方によるハイブリッドのADCコンフィギュレーションで仮想化アプリケーションの拡張を支援します。すべてのEqualizerには基本機能としてVLB*
が搭載されています。Equalizerの物理アプライアンスはアプリケーションデリバリ環境に特化し、最適化されています。必要な帯域幅によってハイキャパシティのSSLオフロードまたは圧縮などのアプリケーションアクセラレーションが必要な場合、ハードウェアベースの
“物理アプライアンス”
のEqualizerにより、仮想化アプリケーションにおける最善のパフォーマンスを引き出すことができます。高度なトラフィック管理を必要とする仮想化アプリケーションを利用している場合ならば物理アプライアンスまたは仮想アプライアンス、いずれのEqualizerでもニーズを満たすことができます。

柔軟性を極めた包括的な仮想化アプリケーションデリバリネットワークを構築したいならば、仮

想ADCアプライアンスであるEqualizer
OnDemandが提供している、必要な負荷分散機能を含む仮想環境パッケージを推奨します。また、ADCアプライアンスを仮想化することにより、追加のハードウェアアプライアンスも不要となり、仮想化データセンタでアプリケーションの可用性を確保するためのコストも削減することができます。

*VLB（Equalizer VLB）：従来の実装システムの上に仮想サーバを稼動させることができるCoyote Point Systemsの仮想化サーバのロードバランシング機能です。標準搭載のVLB BasicではVirtual Centerと連携し、仮想サーバのCPUメモリ情報を取得し、その情報を元にEqualizerの動的Weight値を変化させ負荷分散を行うことが可能であり、さらにE450GXやE650GXが持つVLB Advancedでは、仮想サーバの負荷状況に応じてVirtual Centerに依頼することにより、仮想サーバ機の起動／停止／再起動といった処理を実行することができます。

*Equalizer OnDemand（TM）：来春リリース予定のEQ/OS 10以降にて販売開始のCoyote Point Systemsの仮想化アプライアンスソリューションです。
【コヨーテポイントについて】
Coyote Point Systems Inc.は、アプリケーションデリバリ、アクセラレーション、負荷分散ソリューションのリーディングプロバイダであり、Webサーバやアプリケーションサーバの効率的なコントロールを実現します。コヨーテポイントのEqualizer、Envoy、VLBは、パフォーマンス、価格、使いやすさのコンビネーションにおいて業界最高レベルを誇り、サーバの24時間365日の高可用性、サーバとWANパフォーマンスの最適化、柔軟な拡張性、そしてアプリケーションとネットワークアクセスの安全性を確保します。コヨーテポイントは本社をカリフォルニア州サンノゼに置いています。詳細はwww,coyotepoint.jp、または www.coyotepoint.com をご覧ください。

※ 本リリースに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】
Coyote Point Systems, inc. 日本事務所
〒100-6162
東京都千代田区永田町2-11-1山王パークタワー3F
エクゼクティブ・センター内
電話： 03-6205-3093
E-MAIL： jpinfo@coyotepoint.com
Webからのお問い合わせ： http://www.coyotepoint.com/contact.php
URL： http://www.coyotepoint.jp 、http://www.coyotepoint.com

---

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com